# 2005 年度 小委員会活動成果報告

（2006 年　３　月　10 日作成）

| | | |
|---|---|---|
| **小委員会名** | 温暖化対策評価小委員会 | **主 査 名**：下田　吉之<br>**就任年月**：2005 年　４月 |
| **所属本委員会**<br>**（所属運営委員会）** | 地球環境委員会 | **委員長名**：岩田　衛<br>**主 査 名**： |
| **設　置　期　間** | 2005 年　4 月　　～　　2007 年　3 月 | |
| **設　置　目　的**<br>**各年度活動計画**<br>**（箇条書き）** | ・建築分野における地球温暖化に対する緩和策・適応策を整理・評価する。<br>・2005 年度は建築分野における地球温暖化対策を整理する。<br>・2006 年度は上記成果を小冊子にとりまとめ、対外的に報告する。 | |
| **委員構成**<br>**（委員名（所属））** | **委員公募の有無**：無<br>下田吉之（大阪大学），三浦秀一（東北芸術工科大学），外岡豊（埼玉大学），金子千秋（日本地域冷暖房協会），松原斎樹（京都府立大学），依田浩敏（近畿大学），永田敬博（東京ガス），木戸一成（積水ハウス），田中俊彦（東京電力），中島祐輔（工学院大学），伊香賀俊治（日建設計），外崎真理雄（森林総合研究所），高木直樹（信州大学） | |
| **設置 WG**<br>**（WG 名：目的）** | 地域対策推進 WG：地方自治体など地域での温暖化対策推進への学会としての役割のあり方を考える。<br>マクロ評価 WG：建築における温暖化緩和策の全国レベルの効果推計手法検討 | |
| 2005 **年度予算** | 85,000　円 | **ホームページ公開の有無**：無<br>**委員会 HP アドレス**： |

| **項　　目** | **自己評価** |
|---|---|
| **委員会開催数** | ５　回（年度内計画を含む） |
| **刊行物**<br>**（シンポジウム資料等は除く）** | 無 |
| **講習会** | 無 |
| **催し物**<br>**（シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等）** | １．公開勉強会「地域で始動する温暖化対策の現状と課題」<br>2005 年 12 月９日　参加者数　１６　名<br>２．日本の２１世紀型業務部門温暖化対策技術普及シナリオとは？<br>（2006 年２月 21 日、国立環境研究所主催シンポジウムに協力）参加者数６０名 |
| **大会研究集会** | 無 |
| **対外的意見表明・パブリックコメント等** | 環境自治体会議、気候ネットワーク、温暖化対策シナリオ作成への基礎知識提供<br>温室効果ガス排出量算定手法検討会(環境省)への貢献 |
| **目標の達成度**<br>**（当初の活動計画と得られた成果との関係）** | １．「建築分野における温暖化対策リスト」の執筆に着手した他、国立環境研究所など関連各機関との連携を進めている。<br>２．地域対策に関する公開勉強会を実施するなど、同分野の活動を開始した。<br>３．マクロ評価基礎データを蓄積し、業務、住宅・対策評価シナリオ分析を実施。 |
| **委員会活動の問題点・課題** | １．建築分野における地球温暖化対策の評価と推進は今後の重要課題であり、マクロデータの蓄積など継続的な取組を支援する体制、学会内外の関連組織との連携体制などについて、さらに強化していきたい。 |

＊小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。